

児童クラブ訪問



高木えり議員

申し入れでは、子供たちが学校生活から自宅待機の生活になり、外出できずストレスになっていること。また、学童保育に通っている子どもたちへの対応として「マスク（子供用）や消毒液等」の補充、そして指導員の不足により毎日交代で入れ替わることに子どもたちが気を使いお話しが出来ない子どもがいること。指導員の長時間労働での不安があること。長期にわたる対応が求められることが予測される中、指導員不足で交代要員が少なく仕事を休めない等指導員の悩みを教育長にとどけました。市長には加えて新型コロナウイルス

スへの問題について、市役所で相談できる窓口の設定などを求め申し入れを行いました。



ダミーです。絵解きが入ります。



代表質問



岸本たてき議員

気候温暖と市のプラごみ焼却施設はCO₂問題

本市でも、SDGsの達成に向け、調和のとれた形で発展・改善への市政への方向が出されています。2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、とりわけCO₂削減が温暖化対策の目標として掲げるべき「気候非常事態宣言自治体」をもとめました。

また、加古川市はプラスチック系ごみ

を燃料とする焼却に頼る可燃廃棄物処理の政策について可燃ごみ処分の燃料にプラスチック系ごみを燃やし、CO₂発生を行う施策を今後も続けてよいのか、CO₂発生を抑える世界的課題に逆行する市の施策、ごみ処理方法や市指定ごみ袋（プラスチック系）導入について、市長の所見を質しました



約30年にあつたCO₂指定袋

建設中の広域ごみ焼却場

国民健康保険料の引き下げ求めて

国民健康保険料の市民負担が増え続けています。全国知事会は国費1兆円の投入を求めています。本市におきましても保険料が高すぎて払えない。国保組合員の約34,600世帯ですが、

所得の少ない市民は苦しい中で納めている状況です。市民の負担を抑えて協会けんぽ並みに引き下げる施策を市から国に求めることを求め、市長の所見を質しました。



一般質問



立花しゅんじ議員

加齢性難聴者の補聴器に補助を

最近、高齢者から、耳鳴りや耳が遠くなって困っている、医者に掛かり、補聴器を購入したが30万円もかかった。行政で補助する制度はないのか？という要望があることから一般質問をしました。日本は難聴者1,430万人に対して欧米と同じぐらいの難聴者がいるのですが、補聴器を利用している方は13.5%で、欧米の半分であることがわかっています。欧米先進国では30~40%が補聴器を利用しています。理由は難聴者に対する手厚いサポート体制や補助制度だといわれています。国会では大門実紀史参議院議員が、県会でも県議団が奮闘して補助制度を求める意見書を国

にあげています。市でも公共施設にヒヤリングループの設置よ周知に心がけ、助成制度について要望しました。



ダミーです。絵解きが入ります。

令和2年度 第2回 加古川市議会(定例会) 日程(案)

6/9(火)	全議案上程(質疑、付託) 一般質問	第1日	11(木)	一般質問	第3日	16(火)	建設経済常任委員会	
10(水)	一般質問	第2日	12(金)	総務教育常任委員会		23(火)	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案上程(即決)	第4日
			15(月)	福祉環境常任委員会 ※午後開催				

議案は市HPにも掲載されます。各委員会は9:30開会予定です。請願の締切は5月27日(水)です。